

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価 (就職先の評価、卒業生評価)
小項目	6.4.2 学位授与 (卒業・修了判定) は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策 (院) (専門)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告 (2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 前期課程、後期課程において安定的に一定の修了者を輩出する。	→学位の授与数。	A	A	A	A	/
2. 学会発表の包括的支援を拡充する。	→大学院生の学会発表回数。	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度 (2011年度) の修士学位授与数は23名 (16名)、博士学位授与数は5名 (2名)、過去3年間累積の修士学位授与数は59名 (61名) 博士学位授与数6名 (11名) であり、2012年度は大幅に増加した。若干の変動はあるが、安定的に修了者を輩出している。
目標2	2012年度春学期は教育活性化資金を利用し、秋学期は商学研究科予算により、大学院生の国内学会発表の旅費補助を行った。後期課程在籍者8名のうち延4名がこの制度を利用して学会発表を行った。商学研究科予算減額により財政的には困難であるが、国内学会補助を継続するよう努力している。大学院生からの要望の多い支援制度であるので、大学への予算化を要求したい。
備考	